

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000101	事業の開始年月日	平成21年4月16日	
		指定年月日	平成21年4月16日	
法人名	社会福祉法人プレマ会			
事業所名	そよ風			
所在地	( 242-0028 ) 神奈川県大和市桜森3丁目4番4号			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成23年11月8日	評価結果 市町村受理日	平成24年2月28日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493000101&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493000101&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・グループホームも地域で生活する一員として、今年度は自治会の班長を引き受け、地域の皆様と直接関わっています。地域の行事初詣、どんど焼き、さくら祭り、盆踊り、秋祭り、賀詞交歓会などにも参加し、ボランティアとしても協力しています。  
 ・毎日の食事は、ご利用者の希望も取入れ職員全員で考える献立、調理はご利用者と一緒に行っています。食材は地域の商店を利用しています。  
 ・年間の行事を担当制にして、1階「風の子保育園」との交流会や、外食ツアー、年2回のバスツアー（今年度は、横浜山下公園の散策とホテルでの昼食、秋の紅葉ドライブ鎌倉の大仏）による外出、今出来る事を楽しんで頂きます。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年12月8日	評価機関 評価決定日	平成24年1月5日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは相鉄線の「相模大塚駅」下車徒歩2分の駅前にあります。周囲にはいくつかのスーパーや自然公園「泉の森」があり、散歩や買い物にも便利な環境です。1階が保育施設で2階、3階がグループホームで屋上にはソーラーシステムを設置し、太陽発電装置も整備された鉄骨3階建てです。

#### <優れている点>

母体法人の特別養護老人ホームやグループホームが近隣にあり、法人の看護部による医療相談や栄養部の献立内容・指導、食材の相談などいろいろな面で交流し、安心したバックアップを相互に受けています。ホーム長は地域の自治体の班長を担当し、地域の行事にも利用者と一緒に参加し、交流しています。

1階にはいつも元気な保育施設の子供たちの声があり、子供の日やひな祭り、クリスマス会など一緒に楽しみ、活力を与えられています。保育施設には職員や一部地域の子供たちも預かり、職員には安心した職場になっています。

#### <工夫している点>

日帰りバスツアーやランチツアーや桜森神社へのお花見など外出の機会が多く楽しみになっています。外出には利用者全員参加を前提に職員が最大限の努力をして実現させています。日常品係、排泄用品係、食材係、外出係、訪問医往診時対応係などユニット合同による責任ある分担制を取り、それぞれ目標を持って運営に参加しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	そよ風
ユニット名	2フロアー さくらユニット

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・ベースの理念を職員で考え作り上げたので業務の中で意識し、ご利用者の支援につなげています。	法人の理念をもとに、日々利用者に対する全職員一人ひとりの支援の思いを寄せ合い、5つの項目にまとめ上げ、理念を作成し、管理者とともにサービスの向上に努めています。中途採用の職員には作成時の理念の思いの承継を大切に教育しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・そよ風が自治会の班長を引き受けているので、行事の情報も早く知ることができ、積極的に参加し交流出来ています。	駅の近くで周囲には一戸建ての住宅が少ない環境にあって、ホーム長が自治会の班長となって地域の行事などお世話をしています。駅の広場のコーナーでサロン風におしゃべりを楽しむ隣人会に参加し、地域の方々とのつながりを大切にしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・そよ風だよりは、自治会の回覧板にて地域へ発信しています。その中で認知症についての情報をお知らせしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議では、そよ風の2ヶ月間の様子や、入退居、ご利用者、地域、介護課との情報交換はとても参考になります。	年6回開催される会議には市の職員、自治会長、地区社協会長や老人会などの外部の方や利用者、家族なども参加し、日々の生活内容や自己評価、行事など報告し、意見・要望などの交換を図り、サービス向上に活かしています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・運営推進会議推進委員として関わって頂き情報交換出来ています。 ・3・11の震災時に、密な連絡を取り合う事ができた。 ・空き室情報など月2回の情報交換しています。	事業所の開所時以来、市の担当者とは困難事例の相談やサービスの取組みなどについて協力関係を築いています。市の主催するグループホームの集いでは各事業所の職員が参加し、空き室状況などの情報を共有し、担当者や市民に提供しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修に参加後、職員会議でも話し合っている。</li> <li>玄関の施錠はしないように心がけている。</li> <li>薬を出来るだけ減らすように努めています。</li> </ul>	外部研修や法人内の研修で虐待防止の徹底や権利擁護について毎年、学習しています。虐待や暴言などにより、利用者が受ける身体的、精神的弊害について理解し、成年後見制度についても家族とも意見交換しています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人研修において、老人福祉法や介護保険法など講義が有り、その防止法を学んでいる。</li> </ul>		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修の受講とその報告会（職員会議）にて話し合い支援につなげています。</li> <li>制度を利用している家族との情報交換を行う。</li> </ul>		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所時に行っている。玄関の見やすい場所に置いてある。ご家族からの質問にすぐ対応している。</li> </ul>		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>面会時にご家族とお話できるように心がけている。</li> <li>ご家族が参加できる行事を設け（敬老祭）、その中での御意見など参考にさせて頂いています。</li> </ul>	駅から2分という交通の便が良いので、月20～30人の家族の訪問があり、いつも話しあうよう心掛けています。桜まつり、夏まつり、クリスマス会やひな祭りや運営推進会議など機会では困ったり、不安に思っていることなどの意見交換しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・リーダー会議、ユニット会議、職員会議があり、その中で意見交換出来ています。 ・毎日の申し送りの中でも反映できている。	日用品、排泄用品、献立の食材係や訪問医往診時対応係などユニット合同による責任ある分担制を取り、運営に参加しています。毎朝のケアの申し送りの中で意見や情報の交換をし、リーダー会議・ユニット会議や職員会議でサービスの向上につなげています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・職員の目標の設定や職員の状況を把握し対応されています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人研修年3回への参加。 ・外部研修も出来るだけ順番に受講しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・大和市内のグループホームの集、課題を持ち勉強会と交流の場に参加しています。 ・ホーム長会への参加。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居時には、ご家族からの情報を共有し、傾聴に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・面会時には、出来るだけご家族に声をかけ状況をお伝えし、相談をお受けするように心がけています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居時には、ご利用者、ご家族より必ずご希望をお聞きし提供できるように努めています。 ・ご利用者の不安や混乱がないよう注意して対応しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・ご利用者にできる事は一緒に行い、生活の維持ができるよう対応に努めている。(掃除、モップがけ、洗濯干し、たたみ、調理、買い物等)		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族からの声も大切にし常に相談が双方からできるよう心がけています。 ・誕生会などにご家族が参加できる機会をつくり、一緒に楽しんで頂けるよう努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・入居時の生活歴の情報や、面会時のご家族からの情報、ご利用者との会話の中に出てくるご家族のお名前や場所などを職員側も覚え、会話を工夫しています。	アセスメント作成時に利用者がなじんできた食事や飲酒、入浴、買い物、趣味、仕事などの習慣や好みなどによる暮らし方を把握し、それを継続できるよう、日常の会話や外出時にひき出す支援に努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・ご利用者間のトラブルを出来るだけ無くすよう、食事の席や、外出時の席など気の合う方が近くになるよう配慮すると共に、音楽クラブなど通じ楽しく交流出来るよう心がけています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退所されたご家族から旬の果物を「母がいたときと同じように送ります」とお送り頂き、関係性を大切にしています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・ご利用者主体を意識し、ご希望が実現できる様に心がけています。	職員が作った理念、「思いを一緒に感じながら、一緒に考えながら」を合言葉に日々のレクリエーションや会話の中から一人ひとりの思いや意向を把握しています。楽しみごとや役割などにより、活力を引き出し意欲的な生活ができるよう支援しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所前の生活歴などの情報を、職員で共有して、お一人ひとりの生活を大切にしよう心がけています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・ご利用者との会話や支援している中で、現状の把握に努め確認しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>・ご利用者、ご家族の希望を取り入れ、ユニット会議で話し合いプランの作成をするよう努力しています。</p>	<p>日々の生活の状況や自立度など職員全員が共有する申送りノートから把握するとともに本人や家族の意向や思いをユニット会議で話し合い、訪問医や看護師のアドバイスを受け、その人らしく暮らせるための介護計画を作成しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・日々の様子、ケアの実施は出来るだけ具体的に記録し情報を共有して支援に役立てています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・必要に応じて訪問マッサージはご本人、ご家族の希望により、訪問医と連携しご利用いただいています。</p> <p>・歯科治療に関しても、ご希望がある時には訪問歯科をお勧めしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・風の子保育園との交流、地域での外食、自治会のお祭り等行事への参加をしています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・月2回の定期診療と臨時往診もあり、24時間体制での連携をして頂いています。</p> <p>・近所のクリニック（内科、脳神経外科）とも連携できています。</p>	<p>協力医療機関の訪問医とは毎月2回の定期診療や随時の往診、利用者の小さな異常でも24時間連携の体制となっています。本人や家族の希望により、かかりつけ医の受診を支援されている利用者もいます。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の看護部との連携、真和クリニックの医師や看護師とは、ご利用者の小さな変化に対しても、いつでも報告相談ができ指示を頂いています。</li> </ul>		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族とは常に連携を取り、入院中の経過を把握し、お見舞いに出かけ直接ご利用者に面会してきます。</li> <li>・必要に応じ病院の相談員や医師、看護師からのお話をお聞きする事が有ります。</li> </ul>		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化の指針は、入居時に説明しています。看取りについては、ご家族や訪問医、施設と十分話し合いをしてケアに取り組んでいます。</li> </ul>	「重度化した場合の対応に係る指針」が用意され、本人・家族に契約時に説明しています。急性期には医師との連携を密に行い、利用者・家族の意思を尊重し、取り組んでいます。過去数名の看取りが行われています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応マニュアルで備えています。</li> </ul>		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回大和市消防の協力を得て防災訓練を実施しています。消火訓練などご利用者と一緒に行っています。</li> </ul>	利用者とともに年2回の大和市の消火訓練、避難訓練に参加しています。同法人の特別擁護老人ホームが避難場所となっており、緊急時の対応の協力関係は整備されています。災害対策マニュアルも整備され、消防通報装置を設置してあります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・居室へのノック、扉の開け放し、その方にあった声掛け、意識を持って対応できるよう心がけています。	職員は利用者一人ひとりを丁寧に見守り、特徴を知り、各利用者ごとに適切な対応に努めています。言葉遣いは慣れなれしくなり過ぎないように注意し、排泄の介助時には、リハビリパンツを目につかないように袋に入れるなど様々に工夫しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ご自分の思いを表現できる方、困難な方、日常の会話や対応よりくみ取るように心がけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・新聞の購読をされ毎日読んでいる方、文芸春秋を購読の方は近くのコンビニより配達して頂き楽しまれています。出来るだけご希望に添った支援を心がけています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・食べこぼし等で汚れた衣類は直ぐ替えさせて頂き清潔を心がけています。行事や、外出時は好みの洋服など選びおしゃれに気をつけます。ネクタイなども締められる方もあります。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・もやしの芽をとったり、野菜を切って頂き職員と食事の準備をします。後片付けや、洗いのもの、食器拭きなども職員と一緒にします。	献立は利用者の好みを把握し全職員で作成し、食材は近隣の店から旬の物を取り寄せています。朝食はごはんとパンが1日置き、昼食には麺類が3日に1回、刺身は月2回、外食は年6回など食事が利用者の大きな楽しみになるように努めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・3回の食事時、10時、3時のおやつ時、入浴後の水分補給をしています。が、量の少ない方もいらっしゃるのなるべくこまめに飲んで頂くようにしている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・食後の口腔ケア、歯磨き、入れ歯洗いをしています。が、嫌がる方には、口をゆすぐだけの時もあり、個別対応しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・食後のトイレ誘導、2時間おきにトイレに声かけお誘いするようにして布パンツに移行できるように心がけています。</p>	<p>リハビリパンツ利用から布パンツへの移行に取り組み、6名が布パンツになりました。3名はリハビリパンツに戻りましたが今、可能な最高の支援に努めています。昼間は全利用者がトイレを使い、夜間もなるべくトイレへ誘導しています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>牛乳、ヨーグルト、果物など多く摂取して頂き、自力で排便できるよう心がけています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・ご利用者の希望で入浴を勧めています。</p>	<p>入浴は基本的に週3日ですが他の日は足浴をします。浴室にはリフトが設置され、体の不自由な利用者も安全に入浴できます。入浴拒否の強い利用者には無理強いにならないように職員が様々な方法で誘導し、入浴できるように支援しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・夜間帯は1時間おきの見守りをして安眠できているか確認しています。動きの多い方は15分おき個々に応じた見守りをしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・最新の処方薬説明書のファイルを作りすぐ見て確認できる様にしています。服薬時は、ご本人の前で名前の確認を声に出しています。口の中に残っていないか、飲み込みの確認も行っていきます。変化については、医師や薬剤師との相談も行っていきます。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・家事（料理、掃除、洗濯）等できることを一緒に行って頂いています。週1回の音楽クラブで歌ったり、編み物をしたり、毎日テレビ体操したり、気分転換を図っています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・年2回のバス旅行、年4回位の外食、近くの神社のお花見や、自治会の行事など外出の機会を多くしています。	毎週、火金は近隣の商店に職員やボランティアと買い物ごとの散歩に出かけます。近くの神社や公園への散歩、自治会の行事への参加などと、年4回の食事会、2回のバスでの外出があり、今年は山下公園、鎌倉の大仏に出かけました。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ご利用者で現金管理できる方は、職員と一緒に本や、お菓子、衣類など購入しています。他の方は、ご家族面会時に必要な物品を購入して頂いたり、外食にお出かけになる事もあります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・必要に応じて支援しています。ご親戚からのお葉書等は直接お渡ししています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・季節に応じ、お花、果物野菜などを飾ったり、ご利用者と職員の手作り折り紙での飾り付けをしています。 ・冬の乾燥時期には加湿機能付き空気清浄機を用意し、こまめに温度調整や、換輝を心がけています。	リビングは外側に広いベランダがありプランターに花が植えられていて家庭的な暖かい雰囲気があります。室内は明るく清潔で行事の写真、季節の花などが飾られ、職員は担当者を決めていつも利用者の気持ちが和むように気配りをしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・リビング、ダイニング、お好きなどころでテレビをご覧になったり、談笑されたり、本や新聞を読まれたりとお一人ひとり自由に過ごされています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご利用者の使い慣れた家具等を持ち込まれ、御自宅と変わらぬ生活空間で過ごされています。	居室は利用者が持ち込んだ椅子、テーブル、タンスなどが置かれています。各部屋ごとに職員の担当が決められていて衣類の整理や居室の安全、清潔に気を配っています。利用者の状況に応じて入口に目印になる物が飾られてい部屋があります。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・できる事はお手伝いして頂き、生活に張り合いを持って頂くため、食事の支度、お掃除、洗濯物干し、洗濯物たたみ等取り組んで頂きます。		

事業所名	そよ風
ユニット名	3フロアー けやきユニット

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・理念実現に向けて、実践活動を行うよう努めている。 ・理念を反映して、日頃のケア、支援につながるよう意識している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・利域との交流の機会が増えた。桜森稲荷例大祭には、神輿が施設前まで来ていただいた。地域のお祭り行事に参加。近所の店舗へお買い物に行っています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・そよ風だよりで、認知症についての情報提供を行っている（年3回の発行予定）。自治会を通じ回覧板にて、各家庭にお知らせしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・推進会議の場で、普段のご利用者の日常をお知らせしている。 ・目標についての進捗状況をお知らせしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・運営推進会議の場を利用してお伝えしている。 ・3・11の震災時に、密な連絡を取り合う事ができた。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束をしないケアの実践について研修を受けている。</li> <li>・ベッド柵の位置、外出の機会を作る。</li> <li>・眠前薬定時服薬から頓服へと減少する。</li> </ul> 施錠に頼らないリスクマネジメント		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人研修において、防止法についての研修を行う。関連法規も併せて講義を受け、なぜ虐待をしてはいけないのか法的根拠を述べる、レポートについて課題提出をする。</li> </ul>		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県福祉大会会場で、後見人制度について学ぶ機会を持つ。</li> <li>・制度を利用している家族との情報交換を行う。（弁護士の見学）</li> </ul>		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所時に行っている。玄関の見やすい場所に置いてある。ご家族からの質問にすぐ対応している。</li> </ul>		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者や、面会時の御家族と、話しやすい雰囲気作りに心がけている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・意見や提案は、そのつど相談させて頂いている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・就業規則は、わかりやすい場所に置いてあります。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・防災訓練の実施。 ・外部研修への参加。（感染症、虐待防止、認知症基礎研修：実践者研修などの受講） ・法人研修への参加		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・大和市グループホームへの参加。 ・ホーム長会への参加		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・サービス利用開始時には、本人の情報共有に努め、安心して施設の生活に慣れて頂くように、統一したケアを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入居日翌日は、必ず夜間のご様子などお伝えしています。 ・面会時にその都度、職員の方からご様子についてお知らせしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居時の情報を大切にし、ご利用者、ご家族からのご希望等必ずお聞きし実現できるよう努めています。 ご利用者の対応について、ご家族とも相談をさせて頂いていただいています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・掃除を職員と一緒にやる。食事を作る際には、包丁を持って頂き食材を切ったり、盛りつけをするなどして料理を行い、生活を共にする関係を築こうと努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・面会時に於いて、御家族と落ち着いて過ごして頂けるように配慮しています。入浴を見合わせたり、居室やリビングでゆっくり過ごしていただく。ご利用者の対応についてご家族とも相談させて頂いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・知人の方についても、ゆっくり落ち着いた雰囲気の中で過ごして頂くよう配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・食席は仲の良い方と近くになるように配慮しています。 ・ご利用者が他のご利用者を気遣う場面では、職員が間に入り誤解が生まれない様に対応しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・特養へ移られた方との交流を続けています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・画一的な対応にならない、個別対応に努め、ご本人の思いや意向を普段の関わりの中から把握するように努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・御家族、以前ご利用していた事業者のケアマネージャーからの情報提供を受け、状況、状態の把握をしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・スタッフ一人ひとりが、ご利用者の現状を把握し、密な申し送りや詳細な日誌を記入する事で、情報の共有と、統一した支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>・ユニット会議、申し送り時にスタッフと話し合いを行い意見を交換している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・日々の様子、ケアの実践、結果をパソコンを使用して記録を行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・身体的な理由により、医師の指示書に基づいて、訪問マッサージのサービスを受けている。</p> <p>・歯科医師の訪問診察と治療のサービスを受けている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・自治会行事への参加。お祭りの参加。近所へのお買い物。外食を楽しむ為のお食事場所（レストラン等）の利用。</p> <p>・風の子保育園との交流。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・訪問医の定期的な診療、臨時往診がある。</p> <p>・施設から2分の（脳神経外科）クリニックの協力。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・法人の看護部、訪問医真和クリニックの看護師とは、密な連絡や相談を行っている。急変時の対応、いつもと違う様子が見られた時等相談ができる体制が整えられており、適切な受診、看護が受けられる		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院した際には、ご家族とよく話し合い入院先の医師とムンテラを行うなどの対応をとっています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・ターミナルについて事業所は関係者と十分な話し合いを行っている。ご家族、ご本人の意向を出来る限りくみ取る努力をし、御家族の協力を得て、支援に取り組みました。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・対応マニュアルで備えている。 ・新人教育時に於いてロールプレイを使った訓練を行った。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・防災訓練を定期的実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・排泄介助の必要な方には、排尿時は一旦トイレを退出し、プライバシーに配慮している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・普段からご利用者とのコミュニケーションを大切にし、ご本人の希望や思いを表出しやすいよう、スタッフとの関係性を保てるように努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・新聞を読むのを日課にされている方、決まった時間に見たいテレビ番組をご覧になったり（放映時間をお知らせする） ・それぞれの方の生活が過ごせるように個別対応に努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・外出行事の時、敬老祭の時等、女性はお化粧品やマネキュアをしておしゃれを楽しみます。洋服をご自分で選べる様に支援します。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事を楽しめるように努めます。 ・好みの把握に努め、準備、盛りつけ、片付けを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・血液検査成績の数値、情報の提供を受けて、栄養状態、脱水等の把握を行っています。水分がすすまない方へはゼリー、お茶以外の飲み物を積極的に取り入れる対応を行っています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・舞食後、お一人おひとりに、声をかけて実施しています。離床が難しい時にはうがいをするなど個別に対応しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・リハビリパンツの日中使用を勧めています。現在3人の方がリハビリパンツから、綿パンツ使用へと移行致しました。（平成23年5月より開始）</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>・朝食後牛乳や乳製品の援助を心がけています。</p> <p>・毎日テレビ体操を行っています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・個々の状況に応じた入浴の支援が行えるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・下肢の浮腫の状態により、午睡を取り入れています。午睡を行う事で、日中の傾眠を予防し夜間の安眠へつなげる様支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・ワーファリン等、食品との飲み合わせに注意が必要な薬について、薬剤師から十分な説明と情報提供を受けています。めまい、立ちくらみ、食欲不振が薬剤の影響かどうか注意している。 ・処方箋の減増量ご利用者の状況変化が報告できるよう観察を行います。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・毎週水曜日音楽クラブを実施しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・予定がなくても散歩を行うように心がけています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・洗面用品、お菓子、ちょっとしたお買い物を楽しめるように支援しています。（お金を所持している方のみ）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・お手紙を受け取り、ご本人へお渡ししています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・スタッフの話す声、戸を閉める音などの生活音がガチャガチャしないように配慮しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・皆様、お一人おひとりが落ち着いていられる場所、ご自分の席で過ごされています。居室に戻りたい時は、歩行を見守り、介助する等ご本人の意向を大切にしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご自宅でお使いの家具をお持ちいただいています。以前の生活との連続性が保てるように配慮しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・皆様が集まるリビングと、食堂がユニットの中央にあります。食道には、対面式のキッチンがあり、ご利用者と調理をしながらも、食堂とリビングを見渡すことができます。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	・利用者家族へのアンケート結果より、改善して欲しい点、気になる点などの内容を、真摯に受け止め、家族の意見や要望を十分に伝えて頂けるような、関係性の構築を昨年同様継続します。	・利用者家族とそよ風との関係作りと、そよ風の日常生活をもっと知って頂くために、そよ風だよりの発信を続けます。	・年3回のそよ風だよりの発行予定が、平成23年度は1回しか発行出来ず、家族の期待に添えなかったことを反省して、今年度は予定通り3回の発行を出来るように担当者を決め、そよ風全体の内容をお伝えします。	12ヶ月
2	37	・利用者の希望や思いへの支援、自己決定できる様に、利用者一人ひとりへの働きかけを深める。	・利用者・家族の発信する希望や思いなど情報交換を深め、職員が共有して支援します。	・利用者や家族とのコミュニケーションを深め、一人ひとりの思いを知り、個別対応が実現できる努力をします。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。